

外国人労働者の雇用に係るトラブルの実態と問題点

最近では、バブル期のような外国人労働者の爆発的な労働需要こそ見られないものの、その数は一定水準を保ち、特定産業では外国人労働者を欠かすことができなくなっており、雇用管理改善や雇用経路の適正化が問題になっている。

そこで本調査研究では、我が国の外国人労働者が抱えている諸問題の中から、特に雇用管理上のトラブルに焦点を当てて、個別事例をピックアップしてトラブルが発生する背景及びその要因を明確にした。

◆研究委員会メンバー

- 〈座 長〉依 光 正 哲 一橋大学 教授
〈委 員〉石 田 耕 司 静岡県中小企業団体中央会
河 地 宏 康 日本建設産業職員労働組合協議会（前期）
桜 井 和 之 ” （後期）
佐 野 哲 日本労働研究機構
野 村 宏 (財)産業雇用安定センター
〈事務局〉菊 田 顕 (財)雇用開発センター 常務理事
片 岡 博 (財)雇用開発センター 研究調査部長

◆目 次

- 序 章
第 1 章 日系人労働者の雇用上のトラブルの実態と問題点
第 2 章 技能実習生の雇用上のトラブルと問題点
第 3 章 不法就労者等の雇用上のトラブルと労働相談
補 論 イラン人労働者の就労意識・雇用問題
〈参考資料〉